

## 第6回町田市長期計画審議会議事概要

1 **開催日時** 令和2年8月21日（金） 午後3時00分～午後5時00分

2 **開催場所** オンライン会議

3 **出席者**

### <委員>

（学識）大久保英敏会長、三輪律江職務代理、芳賀博委員、小林保子委員

（市民団体）深澤勝委員、安達廣美委員、小野敏明委員、大野太郎委員、野澤哲也委員、  
櫻本千恵子委員、上坂孝博委員

欠席：（市民団体）清原理委員

### <事務局>

小池政策経営部長、浦田企画政策課長、押切経営改革室課長、樋口企画政策課未来づくり担当課長、  
山田企画政策課担当課長、

（企画政策課）山岸、新井、中村（経営改革室）近藤、永井、猪熊

4 **傍聴者**

0名

5 **次第**

1 開会

2 報告事項

（1）第5回審議会の振り返り

（2）「（仮称）2040なりたい未来」（基本構想素案）のパブリックコメント 実施結果

3 議事

（1）（仮称）まちづくり基本目標について

（2）（仮称）経営基本方針について

4 その他

（1）市議会からの意見について

## 1 開会

### ○事務局

定刻になりましたので始めていきたいと思います。では、大久保会長からよろしく願いいたします。傍聴の人数ですが、今、傍聴は0名ですので、このまま始めていきたいと思います。

### ○大久保会長

それでは、これから私が司会をさせていただきます。

審議を始める前に皆さんと共有しておきたい事項がありまして、現在、本日と8月31日に主に基本計画部分の施策や改革項目についての審議を行うことを予定しております。本日で一通りの審議を終えることができましたら、8月31日の審議は行わないこととしたいと考えています。今日の審議次第ですが、よろしく願いします。

これに対して何か御意見ございますでしょうか。特に異論がなければ、そのようにしていきたいと思えますので、よろしく願いします。

それでは、次第に沿って進めてまいります。

## 2 報告事項

### (1) 第5回審議会の振り返り

(事務局より、資料1-1「第5回町田市長期計画審議会(書面会議)議事概要」について説明)

### ○大久保会長

どうもありがとうございました。このことにつきまして御質問等ございますでしょうか。

### ○事務局

補足でよろしいですか。企画政策課の樋口です。キャッチコピーですけれども、当初3案を選んでいただくということで、実際に選んでいただいたわけですが、どうも他市の状況を見ますと、6個ぐらい出しているという例が結構多いということと、例えばなんです、気が付いたらファミリーとか、ちょっと票は少ないですけれども、これは高校生の子たちが考えて出してきた案だったりするので、もし可能であれば、もうちょっと案のキャッチコピーの投票の数を増やしてもいいのかなと考えているんですが、いかがでしょうか。

### ○大久保会長

3つに絞ったんですが、残る3つも候補の中には依然として残したほうがいいのかという話。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

### ○事務局

ありがとうございます。

### ○事務局

候補については、増やした形で投票をやっていこうと思いますので、よろしく願いいたします。

### ○大久保会長

これで進めさせてもらいます。

## **(2) 「(仮称) 2040 年 なるたい未来」(基本構想素案) のパブリックコメント実施結果**

○大久保会長

続きまして(2)です。基本構想素案のパブリックコメント実施結果について、事務局から説明をお願いします。

(事務局より資料2-1 「(仮称) 2040年 なるたい未来」(基本構想素案) パブリックコメント実施結果」について説明)

○大久保会長

どうもありがとうございました。このことについて御質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言なし)

## **3 議事**

### **(1) (仮称) まちづくり基本目標について**

○大久保会長

それでは、ここから議事に入っていきたいと思います。まず、次第3の(1)です。(仮称)まちづくり基本目標について、事務局から説明をお願いします。

(事務局より資料の4の「(仮称)まちづくり基本目標体系案」、緑のA3の表について説明)

○大久保会長

今日はこの9つの政策について、皆さんに御意見をいただくことになっています。9つありますので、1つの政策を5分程度で意見交換したいと思います。これでも45分程度かかるかと思います。

まず、今、政策1について説明いただきましたので、政策1についての御意見からお伺いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○櫻本委員

施策1-1の施策実現によってなりた姿の4行目「子ども・子育ての支援が」を「妊娠出産から子育ての支援」に変えてはどうか。

○事務局

ここは修正させていただきます。

その他いかがでしょうか。

○三輪職務代理

2つ目の子育てと仕事との両立を支援するの施策に関してですけど、女性の就業率という指標だけでちょっと違和感があって、本来は男女共同参画とか、場合によっては働き方みたいなことも、社会全体でという、そういうニュアンスも入ってくるべきかなと思っていますので、担当部のところにそういう部署も入りつつの、指標とか実現によってなりた姿のところに少しワーク・ライフ・バランスだったりとか、その辺のキーワードが入るべきじゃないかなと思うんですが、いかがでしょう。

以上です。

○事務局

ありがとうございます。そうですね。指標につきましてもまだ案の段階ですので、今、御意見いただいたような男女平等参画に関する指標とか入れていくことを考えてまいります。なりたい姿につきましても、先ほどおっしゃられたワーク・ライフ・バランスのようなキーワードを入れてまいります。

○大久保会長

例えば、今のところですけど、指標ですので、あとは男女別の就業率程度に変えることでよろしいですか。

○三輪職務代理

せめてそういう感じで。ただ、まだもう少し指標としてはいろいろ出てくるとは思うんですけど、女性に限定する必要はないのではないかと考えております。

○大久保会長

多分、これ、どこかにデータとして指標でまとめることになると思うので。

○三輪職務代理

であれば、男女だと思います。

○大久保会長

男女であればデータとして残りますよね。

○三輪職務代理

そうですね。

○事務局

ありがとうございます。

○大久保会長

いかがでしょうか小林先生、お願いします。

○小林委員

今、三輪先生にいただいたところで、同じ考えですけれども、指標というのもこれから先が、これ長期計画ですので、今後指標というのは新しいものへとまた変わっていくということもありますか。ちょっと質問も兼ねてですけど。

○事務局

10年間で基本計画になりますので、その間はその指標を使うとは思っています。

○小林委員

なるほど。というのは、まず1-1の魅力ある子育て環境をつくるというのと、1-2の子育てと仕事との両立を支援するという記述は、環境の中の1つに両立の支援というのが入ってくると思うんですね。あえてそれを1-2として置くところをどう捉えるかということだと思います。

この先10年という長期スパンから考えると、単に両立を支援するだけでいいのかというところを考えると、先ほどのように、男性の就業率や女性の就業率、あるいは仕事を両立していることがどのようになっていくことを支援していくのかというところがもう少し、長期計画なので、具体性には欠けるかもしれませんが、将来を見据えた指標というのが入ってくることも大事なのかな。例えばワーク・

ライフ・バランスもそうかもしれませんが、もしかしたらまた新しい指標も入ってくるかなと思うと、ちょっとこれだと弱いのかなという、私も同じ印象を持ちました。

以上です。

○事務局

ありがとうございます。今はまだ各部門で検討しているところですので、一旦そういう御意見を各部署に返して、この施策につきましては厚くしていきたいと考えています。

○三輪職務代理

1点だけもう一つ追加でお願いしたいのは、今の話と絡むのですが、各施策の中で実施していく取組例の先ほどの保育サービスの充実というところにも若干違和感があって、恐らく基本的にこれからもうちょっとしたら、今度は減っていく可能性もあるわけですね、充実していけば。その後どうするみたいな話になっていくときに、サービスとして提供していくというよりは、子どもの育ちにとっては群れる環境作りはすごい大事だよというような、そういう発想も持ってしてもらいたいと思うので、指標として、この待機児童数とか女性の就業率みたいなものの考え方を少し「なりたい姿」のところでフォローしていくような書き方になっていないと、向こう長期の先に何を見据えようとしているのかというところとうまくキャッチアップできないんじゃないかと思うので、そこは部署とも検討していただいたほうが良いような気はしています。

今日、結論はでないと思いますが、意見です。

○事務局

ありがとうございます。

○大久保会長

今、御意見があったのは1-2のところですね。1-2の施策のところと、それから指標のところをもう少し具体的な案も含めて追加するというところでよろしいですか。

○三輪職務代理

はい。恐らく先ほどの小林先生の話と併せると、1-1、1-2をうまくミックスさせた整理があってもいいかもしれないとは思いますが、方針としては理解はしています。

○大久保会長

はい。そうしましたら、今の御意見をこの委員会の反映として、事務局案、そちらのほうに伝えるということにしたいと思います。

○三輪職務代理

はい、結構です。

○大久保会長

それでは、政策1についてはこれぐらいにしておきたいと思いますが、よろしいですか。

続きまして、政策2について事務局から説明をお願いします。

(事務局より、政策2「未来を生きる力を育み合うまちになる」について説明)

○大久保会長

それでは、これも5分程度になりますが、よろしくをお願いします。

○三輪職務代理

1 番目の「光るものを持つ子どもを育てる」というのがちょっと、「光るもの」というのはニュアンスは分かるんですけど、これ決定でしょうか。そうじゃないですよ。

○事務局

まだ大丈夫です。

○三輪職務代理

それに伴った後ろにぶら下がっている言葉の中で、子どもの参画とかは出ているんですけど、これって、もしかしたら主体性を培うとか、要は自ら動いていくとか、そういう意味合いのほうが「光るもの」というよりはいい気もするんですけど、「光るもの」というのがちょっと抽象的過ぎて、ほかの3つに比べると非常にぼんやりしているというか、分からなかった。その辺は意図か何かがあるのかなと思ったんですけど、いかがでしょうか。

○事務局

こちらが言わんとしていることは、先ほどおっしゃっていただいた主体性ですとか、あとは自分が動いていくというところを表現したところではあるんですけど、ちょっと分かりづらかったので、ここも修正をしていこうと思っています。

○三輪職務代理

分かりました。その言葉遣いと、主体性という言い方がいいのか、主体的学びみたいな表現がいいのか、分からないんですけど、そこが2-1には絡んでくると思っています。

もう一つ、2-2も、学ぶだけじゃなくて、幼少期だと遊び込むとか、そういうのも、自分で徹底的に遊ぶことと学ぶことが一致していたりすると思うんですけど、これ、今、学童期を中心に議論されているように見えるので、ここって学童期だけじゃなかったでしたよね、ステージ的に。

○事務局

そうですね。はい。

○三輪職務代理

それであれば、「遊び、学ぶ意欲を」という表現したりするのも1つの手かなとは思ったりもします。以上です。

○大久保会長

ほかに御意見ございますでしょうか。

○大野委員

これは恐らく2-3の教育環境充実のところに関係があると思うのですが、コロナ禍で全国で遠隔教育が非常に注目されて、実現もされているわけですが、たしか町田市は学校のICT環境を強化される政策を実行されていると思いますけれども、それを今後はいかに活用して効果的な教育を行うかというところが、ちょっと指標の中に入れたほうがいいのかと思いますね。

文言としては、遠隔教育の充実であったり、ICTを活用した教育の質向上であったりということになる。この施策のもう一つの効果はグローバル化に通じるところもありますので、いわゆる離れた地域の学校、あるいは海外の学校との交流というのも割と容易に実現可能になると考えております。

ちょっと具体的な文言は浮かんでいないんですけれども、意見として。

○事務局

ありがとうございます。指標につきましては、まだこれ確定ではないので、おっしゃっていただいたICT環境の活用の話ですとか、あとは遠隔教育の部分も検討してまいります。

○大久保会長

ICT環境は現在進行形の話なので、計画というよりも実行を考えなきゃいけないところもあるんですけれども、それをここで議論していいかどうかは分からないのですが、私が伺っているのは、小中高、学生に対してノートパソコン等が行き渡らないという問題があります。恐らく学校関係の方々の協力も得られれば、中古パソコン等を集めることはできると思うんです。それをどこで議論するかということになるかと思います。計画で立てたんですけれど、現状変わってしまっていて、こういうコロナ禍の状況ですと、政策として進めていかなきゃいけない待ったなしの話も出てきます。

ほかに御意見ございますでしょうか。

○芳賀委員

今の2の「未来を生きる力を育み合うまちになる」の学ぶ意欲を育てるところで、なりたい姿は夢や志を持って自ら考え、目標に向かってたくましく生きることができるとなっていて、それに対して、実施していく取組例の中でどうもそのニュアンスが伝わらないんですね。児童・生徒の学力・体力向上ですとか、将来に向けたキャリア形成のための教育ということで、そのことが夢や志を持って自ら考えるということの取組例にはちょっとつながらないような気がするのですが、いかがでしょうか。何か対話形式の学習の機会を増やすとか、そういうなりたい姿に近付けるような取組例を考えていただくといいかなと思いました。

○事務局

そうですね。実際にどういうことをやっていくのかというのは、これから実行計画とかを考えていく段階で決めていくようになると思いますが、取組としては、例えばキャリア形成、キャリア教育などの中で、夢や志を持てる教育というような取り組みを考えています。

○芳賀委員

だから、教育の進め方、プロセスの問題が少し入るといいかと思うんですね。つまり、先生が生徒に何か教えるとか話題を提供するとかということじゃなくて、双方向の授業、学習展開をするという形で恐らく自らの夢や考えは生まれてくるんじゃないかなと思いますので、何かそういうような文言があるといいかなと思いました。

○事務局

ありがとうございます。入れさせていただきます。

では、政策の3のほうの御説明をさせていただきます。

○大久保会長

よろしく申し上げます。

(事務局より、政策3は「自分らしい場所・時間を持てるまちになる」について説明)

○大久保会長

それでは、御意見よろしく申し上げます。

○芳賀委員

今、ちょっと私、先走るかもしれないのですが、つまり、今は青壮年期に当てはまるということになっている施策だろうと思うんですが、青壮年期と中年期を別々に分けることにちょっと違和感を感じるんですね。

つまり、例えば、町田ならではの地域資源を生かすということは、何も青壮年期だけではないし、働きやすい環境を作るということにおいても、当然中年期、あるいは最近では70歳ぐらいまで働こうかというような動きがありますので、この19歳から44歳の下にひもづけて働きやすい環境を作るというのはちょっと違和感を感じたんですが、どうでしょうか。

○事務局

ここだけの世代に向けているわけではないのですが、特にここにというのを見せているような形になります。なので、資料の4の関連するライフステージというので帯が引かれているかと思うんですけど、そこで色が濃くなっている部分につきましては、当然入ってくるというのを認識いただければと思います。なので、中年期とか高年期につきましても当然入ってくるには入ってくるんですが、特に青壮年期ということで今考えております。

○芳賀委員

その帯の濃さにしましても、今のことは壮年期のところは色濃くなっていて、中年期や更年期のところは薄い色になっているんですね。それでいいかということがございます。

○事務局

その辺の見せ方はちょっと今後工夫していきたいと思います。

○大久保会長

ほかにございますか。どうぞ。

○深澤委員

今のコロナ禍の中で、テレワークが随分推奨されて、多分アフターコロナになってもそういった部分でビジネスモデルというのはそう大きな変化がなく、これからも多分テレワークだとか、そういうことが続いていくんだらうと思うんですね。そんな中で、町田市というのはある意味、適切というか、テレワークをやりながら適宜必要な場合に出社するとか、そういった部分で適した地であると思いますので、その辺をもっと推進していったほうが私はいいのかなと思ってまして、そんな文章ができれば入るとうれしいなというのが私の意見です。

○事務局

ありがとうございます。テレワークに関しては、そうですね。基本構想のほうでもこれから進んでいくという話は考えていますので、この計画の部分、特に3-1とかですかね、「ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる」というところでもう少し踏み込んで書いていってもいいのかなとは思っています。

○事務局

働き方の部分だと思いますので、はい、ありがとうございます。

○深澤委員

具体的にIT化に合わせた働き方への対応とか、これから変わっていくのを受け入れようというか、そういうことを推進する町田というのが表現されるのが私はありがたいなと思います。

○事務局

ありがとうございました。

○大久保会長

ほかにございますか。それでは、次の政策4についてお願いします。

(事務局より、政策4「いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる」について説明)

○大久保会長

それでは、御意見をお願いいたします。どうぞ、大野委員。

○大野委員

施策4-1で生涯学習ということをやっておられますが、この指標になるのか、取組例になるのか分かりませんが、町田は大学が非常に多いというのが1つの特徴ですので、大学との連携ということのここをうたっておくべきなのかなとは思っています。他の自治体で、例えば横浜市青葉区なんかでは、本学も参加しておりますが、6大学による市民講座を毎年開催するということが行われておりますので、そういう具体的な計画をイメージしております。以上です。

○事務局

大学との連携についても入れていこうかなと思います。ありがとうございます。

○大久保会長

ほかにございますか。それでは、次の政策5に移りたいと思います。

(事務局より、政策5「人生の豊かさを実感できるまちになる」について説明)

○大久保会長

それでは、よろしくをお願いします。

○芳賀委員

「人生の豊かさを実感できるまち」ですね。それで、政策の中で実施していく取組例のところ、生きがい作りというのはなかなか難しいかなというふうに思います。この文言があっても構わないと思いますけれども、例えば、高齢者の役割作りだとか、役割の見直しなどを行うとか、そういう文言が入ると、そのことが生きがいという形につながりやすくなるのではないかな。もちろん健康もそうなんですけど、だんだん高齢期というのは、役割がなくなるステージでもあるわけですね。それまでの64歳までの中年期までの時期というのは、社会から役割を期待されて私たちは暮らしているんですけど、現在、あるいは65を過ぎると定年というようなことで、大きな役割を失うということが1つ例として挙げられるんですけど、そういう中で、仕事以外のことの役割をいろいろ失う時期でもあると思うんですね。なので、この役割というの何か工夫されるといいかなというふうに思いました。これは意見です。

○事務局

ありがとうございます。

○大久保会長

今、60、65という具体的な年齢が出たと思うのですが、高齢者の中でも定年が70という話もそろそろ出てくると思うんですね。そうしますと、少子高齢化で働き手を確保しなければいけない。その中で70までの高齢者、この中で働ける人は働いていただけるような環境作りというのにも必要になってくるかとは思いますが。そこはいかがでしょうか。

芳賀先生、いかがでしょうか。

○芳賀委員

今の働くということは大きな役割、つまり、これは社会から期待をされた役割ですね。退職とかというのは、社会から期待されて、もう辞めなさいということだと思えます。ですので、町田市の地域社会において、今、具体的に70とか年齢も出てまいりましたけれども、年金の問題を考えると、働けるうちは働くような、そういう役割作りというか、役割を期待するというんですか、そういう雰囲気を作っていくということが大事ななというふうに思うんですね。

要するに、老年学ではエイジズムといいまして、年を取ったら人にサービスを受ける一方なんだという発想が結構あつたりするわけですね。そうじゃなくて、やれるうちはやれるような、御本人が希望したら、それに組みあわせるような、そういう役割作りを行政や地域社会などで作っていくという、そういうことの整備が大事じゃないかと思えます。

○大久保会長

そこをもう少し強調して加えさせてもらってよろしいですか。

○芳賀委員

はい。

○事務局

分かりました。ありがとうございます。

○大久保会長

要は、70歳まで働ける人は働きなさいということだと思います。

○事務局

ありがとうございます。

○大久保会長

ほかにございますでしょうか。それでは、次、政策6に移らせていただきます。

(事務局より、政策6「つながりを力にするまちになる」について説明)

○大久保会長

よろしく申し上げます。

○安達委員

安達です。確かに、これは資料のほうに「町内会・自治会の地域活動に参加している市民の割合」というような形になっております。ここへ来て、町内・自治会のといたしましても、これに関しては非常に深刻な問題だと位置付けております。去年かな、4月の25日にうちの市の委託団体、サポートオフィスというのが出来ていますので、そちらのほうとも今後また話合いの場を設けまして、これに対しましては前向きに取り組んでいきたいと考えております。

この場で、ですから、これに関しまして、意見が皆さんの中から何か案が出していただけるようであれば、逆に私は私なりに受け止めまして、これから先の活動の一環として、皆さんのところに提案し、次回またこういう機会が必ず来ると思いますので、そのときに当方でまた提案させていただければなと、このように考えております。

○小野委員

私からも、「つながり」といいますと、やはり年齢は関係ないと思うんですよ。若い人と、それから高齢者がつながるとか、あるいは縦横、網の目のようにつながっていく、そういうつながりということを考えなきゃいけないと思いますし、要するに人と人とのつながり、これをどんどん広げていく、これがやっぱり大事なことではないかなというふうに思います。

○事務局

そういったことも大事だと思います。

○小野委員

そうですね。それは前の豊かさにもつながることで、豊かさというのは、それは自己が豊かになる、そういうことなので、結局、その豊かさというのはそういうところから来ているんじゃないかと思うんですよ。つながりと豊かさというのはやっぱりつながっていくものだとは私は考えています。

○大久保会長

ほかに御意見ございますでしょうか。

○事務局

今、上坂委員が入られたので、ちょっと状況が分かりにくいと思いますが、今、資料5について、政策6のところに御意見をいただいているところです。

よろしくをお願いします。

○大久保会長

では、政策の7。

(事務局より政策7「ありのまま自分を表現できるまちになる」について説明)

○大久保会長

それでは、政策7です。政策7について御意見よろしくをお願いします。小林先生、いかがでしょうか。

○小林委員

テーマにするのはとても大事なところですけども、どうやっていくのかというところの施策との結びつきが、もう少し具体化、事例のほうですかね、取組例が具体化してくると、より現実味を帯びてくるのかなというイメージを持っています。内容はまさしくこうだと思わなくても、それがインクルーシブな町田市になるために実際これをどうやっていくのかというところをより具体的に出せれば、施策として出せばいいのかなと感じました。その意味では、なりたい姿は分かるのですが、どう具体化したものがもうちょっと出せるかというところに期待があるかなと思います。以上です。

○大久保会長

ほかにごございますでしょうか。

○三輪職務代理

質問です。ここの文化芸術に親しめるというのが、ありのままの目標のところに入っているのですが、この文化芸術と、あとスポーツの参加機会が4と4-2のところであって、何となく私の中では、文化創造、スポーツみたいなものとなりた自分と絡んでいくところが、2つにそれぞれ分かれているみたいな印象を持つのですが、これって普通ですかね、町田のイメージの中では。

○事務局

大体そうですね、文化スポーツとくっついていたりはするのですが、今回あえて文化の部分につきましては、ありのまま表現できるというところに置かせていただいたというところがあります。

○三輪職務代理

分かりました。目標のところとか、こうやって2次元のマトリックスにすると、すごく、どこに入れるみたいなことになりそうなんですけど、多分、もう一つの資料4の先ほどいろいろ、これとこれは重なるよねとか、そういう部分との整理の中で、スポーツと芸術文化みたいなものって、割と目的によってはそれぞれのところで収まっていく部分はある。二重カウントというのかな、そういうこともありそうな内容なので、その辺は今の目標と合わせて言葉を変えたりしながら、2回ぐらい出てきてもいいのかもしれないなと思いながら聞いていました。意見です。以上です。

○事務局

おっしゃるとおり、二重に出てくるようなことになる可能性はあります。またちょっとこちらでの検討も深めていきたいと思います。

○大久保会長

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

そうしましたら、政策8に移りたいと思います。よろしくをお願いします。

(事務局より、それでは、政策8「思わず出歩きたくなるまちになる」について説明)

○大久保会長

それでは、御意見よろしくをお願いします。どうぞ。

○深澤委員

深澤です。町田というのは商都と言われる、商業のまちですので、「買い物を楽しむ」みたいな、そんなイメージの文言をできたら入れてくれるとありがたいんですけど。この中でどっか入っているという前提でしょうか。

○事務局

そうですね。にぎわいですとか、そういう関係の話だと、ここにも入ってくるのかなとは思っているので、もしかしたら政策の3のほうとかに入ってくるかもしれないのですが、そういう「買い物を楽しめる」というふうな表現みたいなものをどこかに入れていきたいなと考えています。

○事務局

もしかしたら3番のほうになるかもしれませんが、ちょっと場所が変わるかもしれないですが、そういう表現を入れてまいります。

○三輪職務代理

ここの中でオープンスペースの話が、各施策の中で実施していく取組例の中に割とオフィススペース、パブリックスペースみたいな話はあるのですが、指標の中では、どちらかというと満足度と、そこでどんな滞在をしたみたいな話の実働の部分でしかなくて、例えば緑地比率みたいなものとか、1人当たり公園面積だったりとか、割とデータベースとしては、そういうハード的な指標で、かつ、それがたくさんあって、それが100%以上稼働しているみたいな、そういう見せ方のほうがいいような気がしているので、そういう空間の担保と、その稼働みたいなイメージで指標を立てるほうがよろしいんじゃないかというのが1つです。

それから2つ目が、昨今のコロナ禍の中で、今、国交省が道路だったりとか公園だったりとかをにぎわいに合わせて規制緩和していく動きがすごく出てきていますので、恐らく町田もシバヒロとかもそうだと思うのですが、道路で少しにぎやかなことが、いわゆる歩行者天国とはまた全然違って、日常性のそういうようなものも志向していく社会実験だったりとか、そういうのをどんどんまち中で起こしていくのも1つの手だし、それをサポートしていき、実験し、制度にして、定常化するということも、特に中心部だったりとか、やや郊外の駅前だったりとか、そういうところもあり得るのかなと思いますので、ニュアンスとしては、取組例のところか、あるいは実現によってなりたい姿のところ少し意欲的にそこも書いていってもいいんじゃないかなというふうに思います。

#### ○事務局

ありがとうございます。この政策については、特に都市計画マスタープランとも連動して動いていますので、そこも、どういう指標を置いていったらいいのかというのはやり取りしていきたいと思っています。先ほどおっしゃった緑地比率とかが、取組レベルの指標になるのか、施策レベルの指標なのかということもありますので、その辺もちょっと検討してまいります。ありがとうございます。

#### ○大久保会長

ほかにございますでしょうか。小林先生、どうぞ。

#### ○小林委員

「思わず出歩きたくなるまちになる」というところで、8-2の施策実現によってなりたい姿のところに「気軽にやりたいことにアクセスできる環境が整っている」とあるのですが、ここはライフスタイルに合わせてということもあるので、アクセスも物理的にアクセスということでの、例えば、オープンスペースやパブリックスペースのユニバーサルデザイン化とか、バリアフリーよりもユニバーサルデザインなのかもしれませんけど、もう少し、都市づくりなので、そういうところを文言に入れてもいいのかなというふうに感じました。以上です。

#### ○事務局

ありがとうございます。ここは検討がまだ煮詰まっていないところがあるので、なりたい姿がかぶっちゃっていたりはするのですが、ここは書き分けをするところではありますので、そういったところを反映させてまいりたいと思います。

#### ○大久保会長

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。それでは最後、政策9について。

(事務局より、政策9「みんなが安心できる強いまちになる」について説明)

○大久保会長

それでは、よろしく申し上げます。どうぞ。

○三輪職務代理

1点よろしいでしょうか。市民の健康を守るというのはすごく大きいのと、それに関連して、災害だけじゃない安心感みたいなものもここに含まれるというふうに理解してよろしいですか。

○事務局

そうです。

○三輪職務代理

そうすると、例えば、WHOのセーフコミュニティとかだと、例えば自殺率だったりとか、そういうものも1つの、なるべく自死しないように、見守り、支え合いみたいなもの、そういうものを1つ指標にしたりするようなもの、実はここにあるような安心というものとの絡みで出てくる指標によく扱うのですが、今、若者の自死率が世界の中でも日本はトップレベルで1位なんですよね。だから、そういうものも含めると、そういうものが町田市はどれぐらいなのかとか分からないですけど、そういう安心みたいなものと地域社会のフォローみたいなものも、もし入れるとしたら、ここしかないのかなとも思ったりしたので、それも視野に入れたらどうかと思います。取り残さないみたいな発想でいうと、SDGsと絡むんでいく話にもなる気がします。

○事務局

ありがとうございます。

○大久保会長

ほかにございますでしょうか。

○芳賀委員

今の市民の健康を守るというところなのですが、取組例のところ、市民の健康づくりの支援ということで、これでいいのだろうとは思いますが、もうちょっと踏み込んで、特に今回の政策の中で、市民の主体的な参加ということがやっぱり背景にございますね。そういう意味でいうと、自分だけが自分で健康を守るというようなことじゃなくて、もちろんそれは大事ですが、市民の主体的な健康作りの輪を支えるとか、何かそういう行政側としての取組としては、そういう主体的な活動になるような支援をするということが大事なんだろうと思うんですね。専門家が住民の方に何かを支えるだけじゃなくて、市民の人が自ら前向きに積極的に健康作りに加わっていくという、そういうまちにならないと、これからはもたないと思うんですね。どんどん高齢の人が多くなったりするという社会ですので。

ただ、それを自分で守れということじゃなくて、個人あるいは組織として、人々という観点で健康作りを支えるという、そういう活動を支えるということが取組例としてはいいのかななどというふうに思いました。

○事務局

ありがとうございます。その点に関しましても部会のほうにも諮っていきたいなと思います。ありがとうございます。

○大久保会長

ほかにございますでしょうか。

○安達委員

これ、自主防災組織率のところなんですけれども、これは非常に長期計画の中で考えますと、だんだん厳しい状態になってきているんじゃないかなという気がするんですよね。一応私が皆さんに説明するときに当たりまして、自助・共助・公助というのがありますよね。私は、自助・共助・近所を大事にしろということで皆さんにお願いしているんですよ。

まず、共助、いわゆる町内会単位で動く分に関しては、それは共助ということでいいでしょうけれども、それだといたしましても、近所付き合いがしっかりしていると、全てのことがスムーズに行くと思うんです。

これは当然、防災課のほうとも一緒になっていろいろ話はさせてもらっているんですけども、もう少し市の行政側といたしましても、この辺に力を入れていただけるような何か文言を選んでもらえれば、もっと我々としてもスムーズに動いていただけるようになるんじゃないかなと、このように考えております。

今、コロナ禍の状態、それこそ大正時代のスペイン風邪などありましたけど、あの当ても当然こういった形の対策が練られたと思うんですよ。喉元を過ぎればじゃないですけども、100年以上たっちゃえば結局ないがしろになっちゃう。ですから、これを機会に、こういった文言も少し取り入れて、組み入れていただければと思います。

○事務局

6番と通じる部分であると思います。整理していきたいと思います。ありがとうございます。

○大久保会長

ほかにございますでしょうか。

○小野委員

昨日もちょっと話題になりましたけれども、昨日、社協のほうで会合がありまして、皆さん一般の方々も出て、やったんですけども、この9-1と9-2に関わることなんですけど、今、お話があったように、地域の方々や町田市民の方々が共通理解をして、そして、こういう事態になったときにいつでも一緒に参加して協力できるという、その体制がとても大事なんですよ。

ですから、普段からそういった、社協の場合ですと、いろんな冊子を作りまして、それを皆さんに徹底して、こういうときにはお願いしますというような、そういう文章をやっておりますけれども、皆さん若い方が、高齢者は難しいんですけども、若い方が率先してやってくれるという、その強みが感じられたんですね、昨日。ですから、そういう普段からお互いに力を出し合って、やりましょうよという、そういう意識を持ってもらうということが大事かなと思いますね。

○事務局

ありがとうございます。今のお話も6との絡みとかで検討してまいりたいと思います。

○事務局

ありがとうございました。

○大久保会長

ほかに御意見ございますでしょうか。

そうしましたら、政策9項目ありましたので結構時間がかかったかと思うんですが、こういう状況で会議をしておりますので、少しまとめも必要かなと。この資料4、5というのはいつまでに仕上げる予定で考えればいいんですか。

○事務局

次回に事務局でほうでもう少し精査をしていきまして提示します。

○大久保会長

分かりました。それで、せっかく今日たくさん意見が出ましたので、これエクセルとかになっていきますか、この資料5は。

○事務局

はい。資料5はエクセルになっています。

○大久保会長

それを委員の皆様を送っていただいて、多分、今日の御意見で構わないと思うのですが、今月中をめどに委員の皆様にごひ整理していただいて、例えば、取組例のところの意見とか、いろんな項目の意見が出たと思いますので、自分の意見は取組例だったという御意見がありましたら、そこに入れていただくようなことをやっていただければ、整理が付くかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○事務局

今、多分皆さんにPDFでお送りしているのですが、エクセルファイルでまた、今日言っていただいたことでも構いませんし、あと、今日言えなかった部分も、それを今月いっぱいぐらいにお送りいただければと思います。すいません。

○大久保会長

全員にノルマとしてやっていただくということではありませんので、意見としてまとめていただくということで、今月を締め切りとして、ぜひエクセルで御意見をまとめて送っていただければと思います。よろしくをお願いします。

## **(2) (仮称) 経営基本方針について**

○大久保会長

それでは、次の次第の3の(2)に移りたいと思います。(仮称)経営基本方針について事務局から説明をお願いいたします。

(事務局より、資料6、資料7(仮称)経営基本方針、基本方針1について事務局から説明)

○芳賀委員

基本方針のところでは1番「共創で開く新たな価値創造の実現」、恐らくこれは「共創で開く」というのは後で付け足したようなふうに見えてくるんですね。つまり、「新たな価値創造の実現」ということなんだろうけど、そういうふうになれば、この1-1、1-2、1-3、4という並びでいいかもしれないんですが、「共創で開く」というふうに先に修飾語が来ているものですから、1-1と1-2は何が共創なのかなってちょっと理解できなかったんですね。むしろ1-3とか1-4を先に出していた

できれば、共創というイメージが先に出てきますので、これをひっくり返すことはできないのかなというふうに、ちょっと単純なことですけど、中身は変わらずに見せかけを変えようという、そういうことの提案ですけれども、いかがですか。

○事務局

経営改革室の押切です。ここは、順番については、庁内の検討部会の中でも議論させていただきました。我々の事務局、経営改革室の案としては、先生おっしゃられたように、1-3からスタートというか、一番先頭に持っていったんですけども、今後、基本方針というのは市民の皆様あるいは民間業者の皆様、大学の皆様、様々な皆様とともにまちづくりの基本目標の実現を目指すような取組を一緒にやっていきましょうよというところでした。その中で、まずファーストステップとして一番大切なのが、情報をみんなで共有したり、双方向に活用し合えるような形にしていくのがファーストステップなのではないかというような庁内の職員のほうから意見ができて、このような並びにさせていただいたところでございます。

今、先生のほうから御意見をいただきましたので、改めて我々のほうでも庁内で持ち帰って議論させていただければありがたいなと思います。ありがとうございます。

○大久保会長

よろしいでしょうか。ほかにもございますでしょうか。

○芳賀委員

今までの背景で何とよく分かるんですが、これを最初に拝見すると、ちょっと伝わってこないの、もし1-1、1-2をこのとおりにするのでしたら、もう少し共創というような言葉を補って、これを残すということもあろうかというふうには思いました。以上です。

○事務局

ありがとうございます。検討したいと思います。

○大久保会長

ほかにもございますでしょうか。

確かに1-1、1-2は情報化社会の話なので、順序を入れ替えてもいいかとは思いますが。情報化社会の問題はセキュリティ強化というのがありますので、個人情報の管理とか、そういったものに力を入れているということは強調しておいたほうがいいかな、取組項目に入れて。そこが外部に出たりすると、マスコミ等に報道されたりして、一気にこのシステムが崩壊してしまいます。

ほかにもございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、次の2のほうの基本方針に移りたいと思います。よろしく申し上げます。

(事務局より、基本方針2対話による組織経営力の強化について説明)

○大久保会長

それでは、御意見よろしく申し上げます。どうぞ。

○芳賀委員

ここも何か先ほどの私のコメントと似たようなことなのですが、組織経営力を強化するというのがメインだと思いますが、これを早めにやるというふうに説明をさせていただいているんですね。ところ

が、今の説明だと、誰と誰が対話をするんだらうか、というところが見えない。むしろそのところをもう少し追加していただければ、例えば、職員間、職員同士なのか、職員と人なのか、ちょっと分からないですが、多分これは組織経営だから、職員スタッフ間なんではないでしょうか。あるいは、この計画案では、担当部署が明記されているんですが、担当部署間の対話を通じてとか、そういうことなんではないか。ちょっとそのニュアンスがもっとあるといいんじゃないかなというふうに思います。

#### ○事務局

御意見ありがとうございます。経営改革室の押切です。対話というキーワードを置きましたのは、実は我々行政経営改革というのを推進していくことを念頭に今まで、これまでも基本計画で行政経営基本方針を推進してきたわけですが、行政経営のベースにある考え方といたしまして、経営品質という考え方をベースに、これまで行政経営という形でやってきました。経営品質という物の考え方に、対話によって自分をセルフマネジメントしていこうと。アセスメントというか、自己改善というか、そういうことを経営品質という考え方は非常に大事にしております、そういう意味で、しっかり対話というのをここでキーワードにして、これからも経営を行っていこうということで、ここはまずはキーワードにして置かせていただいたところです。

そういうふうな組織、風通しのいいといいますか、対話がそれぞれ職員間同士でできる組織作りというのを、2-1だったり、対話力のある人作りをするというのを2-2に置いていく。2-1が組織、2-2が職員ということで構成しております、先生の御質問である誰と誰の対話なのかという、基本的には職員間の対話というふうに考えておりますが、あとは、基本方針1で「共創で開く」という、市民の皆様と一緒にやって、新しい価値を創るというところも、やっぱりここでは対話というのが必要になってきますので、そこの両方、対話力を持った人を育てていこうということで、ちょっとぼかした形になってはいますが、こういう意図でここは入れているということでございます。

以上です。

#### ○芳賀委員

ありがとうございました。私、対話という言葉はとても気に入ったので、少しこだわったところがございます。議論とか討議というのは勝ち負けがあるんですけども、対話は勝ち負けがないんですね。お互いの立場を尊重するという意味合いで使うことが多いと思うので、非常にいいキーワードだろうと思いますので、ぜひここが強調されるような形で、何か説明、めざす姿ですとかに少し反映されるというふうに思いました。以上です。

#### ○安達委員

一応、重複するかもしれませんが、これはあくまでも一人ひとりが認識をもって行動していますとか、全部はつきり言い切っているのはすばらしいと思うんですけども、どうしても縦割り行政になっちゃいますと、やっていることが同じようなものもあると思うんですよ。そうしますと、その部署によって、一般の市民に指示を出すというか、伝達する方法が異なる場合があるんですよ。ですから、これを2-1のほうに該当するかどうか、2-2もそうかな、ここに対してある程度文言を追加できるのであれば、もう少し横のつながりというか、これって非常に大きな問題だと思うんですよ。

片方じゃ、現状のことを考えますと、片方ではコロナ感染対策のために全てストップしましょう、ス

トップしているにもかかわらず、違う部署からはゴーサインが出ちゃう。そうすると、一般市民の人たちは全て迷っちゃうんです。ですから、今現在、これ、長期経営計画として考えるのであれば、こういうものも入れておくべきじゃないかと思います。

これ、いつまでたってもこのままの状態で行っちゃうと、逆に、もうどうでもいいやみたいな投げやりになっちゃうと、せっかくいい、市民と行政との関わりある、大切な存在だとお互いに思っている、何かその辺で、まして今の若い子たちの考え方とすれば、何か冷めた考え方されちゃうんじゃないか。そっちのほうが悪念されるんじゃないかと思うんです。ですから、もしそういう文言を取り入れることができるのであれば、ぜひもう1回検討して、やっていただければと思います。

#### ○事務局

ありがとうございます。経営改革室の押切です。今、安達委員の御指摘ですけれども、我々も、経営基本方針を庁内で検討部会を設けて議論しているということを先ほどお話しさせていただきましたが、その中でも特に町田市の職員ですとか組織の弱点というのは、まさに安達委員おっしゃられた横のつながりが弱いんじゃないかというところは、我々も大きな課題だというふうに実感しているところでございます。

昨今、市民協働推進課を中心に、地域の皆さんと一緒にやっというここと、関わり方とか、あるいは、まちだ〇ごと（まるごと）大作戦というのを今実施しているところなんですけれども、その中でもやっぱり当初は、この〇ごと大作戦の中では、縦横の連携というのがなかなか動いていかなかったところもあるんですが、その中でも改善しなくちゃいけない、我々の大きな改善点、町田市の組織の改善点だというふうに考えて、これを〇ごとの中でも何とか工夫して、連携をするような形で持っていくように、今、そこを心がけてやっていると、これを、この経験をさらにこの後の10年間の計画の中にしっかりと盛り込んでいきたいと思っておりますので、何らかの形で入れるように考えていきたいと思っております。

#### ○安達委員

ぜひそうしていただければと思います。たまたま〇ごと大作戦の委員長も深沢会頭も私も副委員長という形で、そちらも関わっているんですけど、一人一人の職員さんはすごい素晴らしいと思っております。私。対応能力も本当に素晴らしい対応力をしてくれています。

ただ、庁内としての横のつながりが、これも私もこの立場になってから、その都度あるたびに話を出しているんですけど、なかなか、にやっとならなくて終わっちゃうというところがありますので、改めてこういうもので10年計画として盛り込んでいくのであれば、多少なりともそういうものを入れていただければと思います。

#### ○事務局

改善していきたいと思っております。

#### ○大久保会長

恐らく横のつながりをどういう手段でやるかということもあると思うんですね。それが今まで見つからなかったというのがあるんですが、これからはIT社会ですので、例えば1-1がその答えの1つかなと。1-1を2でも盛り込めば、横のつながりになるかと思っております。新しい時代の横糸です、それ

も使えるかと思えます。

○事務局

ありがとうございます。

○大久保会長

ほかに御意見ございますでしょうか。よろしいですか。

そうしましたら、最後の方針3について御説明をお願いします。

(事務局より、基本方針3：次世代につなぐ強固な財政基盤の確立について説明)

○大久保会長

それでは、御意見お願いいたします。どうぞ。

○三輪職務代理

三輪です。すみません。3-2のところで公共施設再編の推進というふうに割と明確に項目案として出しているんですけど、この「再編」という言葉が割と、立地適性と絡んで統合するみたいのところになっていく部分のほうの意味合いが強くとれがちなんですけど、場合によっては、空いたところを利活用していくとか、そういう発想もあるというのであれば、もう少しそのニュアンスも再編だけで止めるのではなくて、再編と利活用とか、あるいは推進だけじゃなくて、検討みたいな話だったりとか、そういうのももし入れるのであれば、ニュアンスとしては入れたほうがいいんじゃないかなというのが1つです。

それからもう一つは、PFIとかも含めて民間の活力を利用する。それこそ共創なので、考えていくみたいな話だったり、場合によってはそれを少し協働で展開していくみたいなことも、これからは多分公共施設に関しては出てくると思いますので、その辺りも、入れるとしたらもしかしたらここなのかなと、意味合いとしては、少し民間の活力の適用とか、そういう文言も入れてもいいのかなというふうに思いましたが、いかがでしょうか。

○事務局

ありがとうございます。経営改革室の押切です。確かに、先生まず1点目おっしゃられた空いたスペースの活用というところは、これからはしっかりとやっていかなきゃいけないので、取り組むべきとか、そういったことをもちろんめざす姿、そういったニュアンスももうちょっと分かりやすく入れていきたいというふうに思っております。

あと、もう1点おっしゃられたPFIとか、新たな公共施設の管理の在り方とか、そういったことも検討していき、これは3-2にするのか、あるいは2-1辺りにするのか、ちょっと検討しながら、これ盛り込むようにさせていただければというふうに思っております。ありがとうございます。

○三輪職務代理

ありがとうございます。ちょっと余談なんですけど、例えば、市の公有地で遊休な土地を、よくあるのは、それを市民の方々が借り上げて市民農園というか、コミュニティーの自治体で菜園にしていき、それをきっかけに若い、先ほどの話じゃないんですけど、壮年期、60代、70代のリタイアした人たちがコミュニティーを強化していきながら、何となく小金を稼いでいくみたいなことを住民たちの自治のほうに動かしていくみたいなのに、いわゆる公共遊休地を少し貸与していくようなのに転用していくみた

いな のって という話題はこれからも出てくる可能性があるんですね。

生活圏がどうしても小さくなっていきますので、そういう意味では、統合すると、どうしても公共機関が遠方になっていくことになるので、でも、身近なところでそういう場作りみたいなものを、遊休施設だったりとか、公的なそういうところをうまく活用しながら、自分たちでマネジメントしていくというところに行政がどうサポートしていくか、それでは金だけじゃないと思うので、そういうことを検討していくのも、ここに書かれていくべきかなと思いますので、ぜひ、どの部分かは御検討いただいて、記入いただきたいと思いました。

以上です。

○事務局

ありがとうございます。経営改革室の押切です。非常に興味深い、そして効果的な取組だと思しますので、検討したいと思います。ありがとうございます。

○大久保会長

ちょっと確認なんですけど、基本方針3のところは町田市の財政の話ではないんですか。

○事務局

財政のところと、あとは市有財産というところで、土地・建物の活用も含まれています。

○大久保会長

活用も含むという、その2つが。

ほかに御意見ございますでしょうか。よろしいですか。では、どうもありがとうございました。

## 4 その他

### (1) 市議会からの意見について

○大久保会長

それでは、結構時間も押してきましたので、次に進みたいと思います。次第の4になります。その他の市議会からの意見について、事務局からの説明をお願いします。

(事務局より、資料8の「令和2年第2回町田市議会定例会基本構想・基本計画特別委員会での質問と回答」について説明)

○大久保会長

どうもありがとうございました。このことについて御質問等ございますでしょうか。よろしいですか。それでは、これで資料全て説明が終わったと思います。どうも様々な御意見をいただきまして、今日はありがとうございました。

最後に、全体を通して御意見やご感想などございますでしょうか。こういう状況ですので、先ほどもお願いしましたように、皆さんの御意見をもう一度まとめたと思いますので、ぜひ、アンケートのような形でお送りさせていただきますが、よろしく願いいたします。

○芳賀委員

1つ確認させていただいてよろしいですか。

○大久保会長

どうぞ。

○芳賀委員

今日議論しましたことについては、資料3で「まちだ未来づくりビジョン2040」、この中には入らないで、別の冊子になるという計画でしょうか。

○事務局

資料3が、今、基本構想の部分なので、ここではなくて、次のその下の基本計画の部分に今日の議論というのは反映させてまいります。

○芳賀委員

そうすると、別冊子になるという。

○事務局

冊子としては1つかもしいないです。

○芳賀委員

どうしてもパブリックコメントなんかでも非常に抽象的なことだけが書かれていて、一体どうするんだというような話がありましたね。ですから、かなり今日の議論は若干具体性に向けた、どういう事例を取り扱うんだなんていうことがあるので、同じ冊子の中で公表されると、読む人が安心できるのかなと思います。

○事務局

そうですね。冊子としては一緒になってくるかなと思います。

○芳賀委員

この見出しを見ると、そんなことが見出しに入っていないものですから、どうなるのかなという単純な疑問です。すいません。

それからもう1点、今、手元に資料3を開いて、3ページを開いているんですが、この説明で、①の説明で「2040 なりたい未来」というところで、ここでは「なりたいまちの姿」と「行政経営の姿」として掲げますって説明してあるんですが、この図を見ると、そこは、なりたいまちの姿というキーワードがないので、ここに入れることはできるんですか。あるいは、あえて入れない意味がある。

○事務局

4ページの部分ですか。

○芳賀委員

図の部分なんですけど、要するに図と文言と対応させる意味では、図の中にも、一番上の基本構想部分のところで「(仮称) 2040 なりたい未来」というのがあって、その下になりたい姿というのと行政経営の姿ということが入るわけですね。そのことが、基本計画のまちづくりの基本目標と経営基本方針のほうに反映されていくということになるんだろうと思いますので、図を見て、これだけで分かるようなイメージのほうがいいかなというふうに思ったんですが。

すいません、私の質問がちょっと分からない質問でしょうか。

○事務局

いえ、一応、素案としてパブリックコメントをいただいて、今、原案のほうにこの冊子自体はなってい

る状況なんですけれども、今後、まだ原案ですので、もう少し精査はしていきますので、今のような御意見もいただきながら、少しもう一度考えて、もしかするとこのままになるかもしれませんが、その辺はご意見いただいて考えていきたいと思います。

○芳賀委員

いや、それでちょっと、なぜこの説明と図を一致させないということがあるのかなという、逆にそういう質問ですね、今度は。

○事務局

説明と図をですか。

○芳賀委員

ちょっとここは、今日時間も迫っていますので、私だけのこだわりなのかもしれないので、そこはどうぞまた御検討いただいて。

○事務局

分かりやすく考えていきたいと思います。すみません、ありがとうございます。

○安達委員

単純な質問です。これ、仮称はいつ取れるんですか。

○事務局

仮称は議決が終わってから。

○安達委員

議決が終わってからでなきゃ取れない。

○事務局

はい。来年の6月に議決をいただいた後に。

○安達委員

このままで冊子ができるわけじゃない。

○事務局

違います。議決をいただいた後、さらにもう少し肉付けといいますか、きれいに装丁をして、お披露目をするときには仮称が取れます。

○安達委員

ありがとうございます。すいませんでした。

○大久保会長

これは、仮称が取れる前にもう一度全体を見て、皆さんの意見を聞くようなことはこの委員会でやるのでしょうか。

○事務局

委員会としては、最終的にはこの長期計画審議会としましては、来年度、最終的に答申をいただきまして、その後、議決になっていくんですが、その過程の中で、答申をいただいて、その上で議会に出して、議会での審議、議論があつて、議決をした後は、する間では、そんなに変更はないかなと思いますが、最終的には皆さんからいただくのは来年度の4月ですね。

○大久保会長

来年の4月までまだ時間はあるんですよ。ですから、皆さんの御意見、細かいところを気付かれたときは、それが反映できるような、どこかで意見交換をしたいとは思っています。

○事務局

細かいところですね。大きなところはやはりパブリックコメントをいただきますので。

○大久保会長

大枠は大体終わってきたと。

○事務局

はい。大きな幹の部分は10月ぐらいでしょうか。

○大久保会長

そういう認識でよろしいでしょうか。

それでは、ぜひ委員の皆様方には資料をまた細かく読んでいただいて、気になったところはチェックしておいていただければと思います。どうもありがとうございました。

最後に、事務局から事務連絡をお願いします。

○事務局

皆様、長い時間ありがとうございました。本日、施策などについて一応一通り御審議いただけたということで、最初に大久保会長からもおっしゃっていただいておりますけれども、8月の31日に予定していた審議会は行わないということで。

○大久保会長

そうですね。その代わり、皆さんから意見をいただくという形。

○事務局

そうですね。それで今ちょっとお話をいただきましたので、なるべく急いで事務局のほうも今日中ぐらいにはメールでエクセルの表をお送りして、もし追加の御意見等ございましたら、メモでもいいですし、エクセルの表に赤字なんかで書き込んでいただいてもいいですし、どんな方法でも結構ですので、今月末までに御意見をいただければというふうに思います。すいません、急いで送るようにします。

○大久保会長

ちなみに、今月末で大丈夫ですか。

○事務局

はい。

○大久保会長

月曜日であれば、来週の月曜日に送っていただいても間に合う。

○事務局

皆さんも記憶に新しい中で多分いろいろお考えになりたいかなというふうに思います。なるべくは頑張りたいと。もし間に合わなかったら、すいません、来週になるかもしれません。

そして、次回なんですけど、10月の30日の金曜日に御予定いただいているかと思います。そこで本日もいただきました御意見をさらにブラッシュアップさせて御審議いただきたいなというふうに思っています。

できれば冊子の状態なんかもお見せできるといいかなというふうには思っておりますが、そして、11月の下旬に中間報告をいただきたいということで予定しているところなのですが、できましたらその前にもう一度開催できないかなと考えております。

といいますのも、基本計画の中にはSDGsの目標との関連付けですとか、あと、まち・ひと・しごと創生総合戦略というものもひも付けもしていく必要がありますので、その点についても御審議いただきたいのですが、次の10月の30日1回だけではもしかしたら厳しいかなと。

10月の30日一日だけではもしかしたら終わらないかなというような懸念もございますので、また日程調整をさせていただいて、11月の9日の週辺りの前半どこかでできないかなというふうを考えております。これは後ほどまた日程等につきましては調整させていただければと思いますので、申し訳ありません、一応保険というか、念のためにもう1回追加をさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

○大久保会長

8月31日は中止ということで、10月と11月にあと2回やりたいということで。

○事務局

はい。2回やらせていただければと。

○大久保会長

すいません、また日程調整もさせていただきますので、よろしくお願いたします。

○事務局

すいません、急なお話で大変申し訳ないんですが。

○大久保会長

あとはよろしいですか。

○事務局

はい、大丈夫です。

○大久保会長

どうも長い時間ありがとうございました。それでは、以上をもちまして第6回町田市長期計画審議会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

— 了 —